

23: 海外ドナーからの移植

1. WG メンバーリスト

氏名	所属	診療科
責任者 東梅 友美	山形大学大学院医学系研究科	内科学第三講座血液・細胞治療内科学分野
飯田 美奈子	愛知医科大学	造血細胞移植振興寄附講座
一戸 辰夫	広島大学病院	血液内科
中瀬 浩一	愛媛県立中央病院	血液内科
三田村 真	ノバ・バイオメディカル株式会社	
木村 文彦	防衛医科大学校病院	血液内科

2. 会議開催記録(2019 年 1 月-12 月)

日時	場所	会議内容
1 月 14 日 12 時 20 分-13 時 20 分	国立がん研究センター新研究棟セミナールーム A・B	1.当 WG の英語名称について 2.次期 WG 責任者について 3. 学会時の WG 開催について 4. WG 研究の進捗状況について
3 月 8 日 7 時 30 分-8 時 30 分	大阪国際会議場 6F 603	1.次期責任者について 2. WG 研究の進捗状況について

3. メーリングリストによる意見交換（メーリングリスト開設から 2019 年 12 月末時点まで）

（ 449 ）回

4. WG の今後の活動方針・抱負など

当 WG では、今までの研究で①海外ドナーからの移植は、国内骨髄バンクや臍帯血移植と遜色ない成績である ②海外ドナーから移植を受けた症例の HLA には特徴がある ③海外ドナーからの移植コーディネート期間は比較的短い という事を明らかにしてきました。

今後は、①海外骨髄バンク(例:中国・韓国・台湾など)と可能であれば共同研究を行い、移植情報の提供を受けることで、国内から海外へ提供された造血幹細胞を用いた移植成績の解析も行う。②現在の研究対象が非常に限定されていることから、日本国内で造血幹細胞移植を施行された外国人患者について解析可能になるよう、一元管理委員会に要望する。③現在少人数であることから積極的に WG への参加者を募り、研究の活性化を図ることを目指していきたいと考えております。